

# 生態系サービス論研究室

教員名：太田 貴大

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

生態系サービス論研究室では、私たち人間が森林や海などから得ている**自然の恵み（生態系サービス）**を、様々な政策の中で中心的に扱ってもらうにはどうしたらよいかを考えています。政策の中で生態系サービスを中心に置いて考えることが最終目的ではなく、私たち人間が自然環境に依存しなければ存在できないことを認識し、最終的には人間と自然環境とが共生できる社会の実現を目指しています。

生態系サービスの量や質を実感してもらう方法は色々ありますが、常に実社会の中で多くの人たちに納得してもらえる方法を追求しています。そのため、一つの学問領域にとらわれることなく、横断的に学問を参照します。

## ● 研究テーマ

### 1. 日常生活で受益を**実感しにくい生態系サービスの価値**を、**金銭的単位**や**生物物理的単位**などを用いて、**分かりやすく表現する**

例：里山里海サービスの経済価値評価、自然保護団体の社会的ネットワークの可視化、島嶼の生物文化多様性の指標化、サステイナビリティ評価手法の開発、長崎ビワ花粉媒介の定量評価と長崎ビワ蜜の採取

### 2. 生態系サービスを**中心的に考える政策**を実施し、**政策を多くの人たちに受け入れてもらうために、必要となる働きかけの方法**を作り出す

例：環境税とソーシャル・マーケティング、サービス受益量推定と科学コミュニケーション

### 3. 自然環境を私たち人間がどのように捉えることで、**環境共生社会の実現につながるのか、自然環境と人間との新たな関係性**を模索して提案する

例：自然と人との「間（あいだ）」の新たなあり方を探求するエコソフィーの実践



## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

一般企業(インフラ、気象関係、飲食サービス業)や公務員(県・市職員)です。また大学院への進学、その後の専門的な職業への就職を目指す学生も応援しています。留学生も多数受け入れています。どのような分野で働いても、生態系サービス、ひいては、自然環境のことを中心的に考えて、ものごとを決定できる人材になってもらいたいと思います。